



むらさき会だより

No.6

平成14年11月

山村学園むらさき会



会長挨拶

田中久子

同窓会員の皆様、そして新会員となられた皆様、ご機嫌いかがですか。同窓生相互の交流をはかり、同窓会がもつと身近かなものになってほしい、という願いからむらさき会だよりを発行して今年で六号となりました。発行にあたりましては、理事長 山村寛先生、学長 山村健先生、下田校長先生、山口校長先生をはじめ大勢の方々御協力のおかげと深く感謝申し上げます。

山村学園も、女子教育の学園として着実に発展し、創立八十周年を迎えました。在学中には実感

のなかつた輝かしい伝統と、歴史の積み重ねに同窓生として誇りにしております。

さて、五月十二日、川越プリンスホテルに於てむらさき会の総会が行われました。参加者の中には、卒業以来の様々な会話に食事をとりながらつきることはありませんでした。そして同窓の方々親近感をいだき、会員同士の親睦も深められたのではないのでしょうか。終わりに「校歌を歌いましょう」と司会者の一声に久し振りに学生気分

にもどりました。

これからも同窓会の存在、同窓会の活動をもっと多くの方々知っていただき、そして知らせたいと思えます。また、先輩、後輩との交流、情報交換等出来るようになってほしいと願うと同時に、若い世代の方々の参加も多くなるのでは、と期待は大きくなります。

今後むらさき会は、一步一步参ります。会員皆様のご協力をよろしく御願ひ申し上げます。

校歌

- 一、富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつ、
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいだきき
名は山村よ我等の学舎
- 二、清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎
- 三、初雁おとのお武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつ、
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎



山村学園理事長

山村 寛先生

その時に祖父・祖母の話ができました。で祖先の墓参りをすることになりました。

甲府市塚原町にある恵運寺にあること、親戚の方の車に同乗してお寺さんに行きお線香をあげてきました。

次に祖母の両親のお寺さんについて山村婦みよの歩んだ道「学校はわがいのち」の年譜に平成五年十二月十三日山梨県中巨摩郡白根町にある大城寺を訪問、墓参した事が書いてあるので行きました。が、当時の住職さんが亡くなり次の世代になっていたので判らないとの事でお墓を確認することが出来ませんでした。

その時、近くに薬王寺があるのとことを聞いて早速行き住職さんにお会いして話をいたしました。祖母の父の姓である中込さんというお墓はいくつもあるが、過去帳は昭和二年以後のはあるがその前はないのはつきり判らないとのことで、諦めて帰ってきまし

た。

その後、親戚の方が調べてくださいます。白根町の役場にも行き、自分の身分証明書も見せましたが戸籍の事項は個人に関する事なので教えるわけにはいかないと電話をくださいました。

八月下旬、私から、事情を書いた手紙と共に祖母に関する原戸籍謄本を同封して白根町の戸籍係に郵送いたしましたので、中込さんの現在の世帯主や住所も判明することに期待をかけております。

わかりましたら中込さんの自宅を訪問したりお寺さんの祖先のお墓にお線香をあげに行きたいと考えております。

追伸

白根町の役場からの返事がきました。それによると個人情報保護条例に違反しますので、中込家の戸籍を追って現在の中込家の子孫をお教えることは出来ないとの事ですので、甲府市の親戚の方とも相談してなんらかの方法を考えたいと思います。

猛暑が続いた夏も去り、九月にはいり朝夕涼しさが感じられる季節になりました。

むらさき会の会員の皆様はお元気で過ごしの事と推察しあげます。今回は、私の祖父忠吉・祖母はるこの両親の墓参について述べたいと思います。

八月十日・十一日に山梨県甲府市の親戚に用事があつて学長と訪問いたしました。

第三十回 同窓会総会を終えて

昭和四十八年十月待望の同窓会が、発足しました。最初の頃は母校での開催でした。直接名誉校長先生の指導を受けられた卒業生の方々の出席が多く、当時を懐かしんでおられました。平成六年からは川越プリンスホテルに会場を移し、総会及び懇親会を行なって居ります。今年はおトラクションとして、卒業生の藤野さんの舞踊、豊泉さん、松岡さんの民謡の発表もあり、専門家の先生のご指導で出席者全員で「東京音頭」を歌い、とても楽しいひとときを過ごすことができました。来年はぜひ皆様お誘い合わせでご出席下さいませようお待ちしております。

顧問 國田正雄先生

同窓会が発足してまもなく顧問をお願い致しまして以来、運営に ついてはすべての面でご指導いただきました。お陰様で年を追う毎に、前進してまいりました。本当に長い間会のためにご尽力いただきまして、深く感謝申し上げます。今後のご健康を祈りつつお礼の言葉といたします。

ご退任

役員 大野小夜子さん 岩上のり子さん
梅沢保子さん

同窓会のためにご協力いただきました。ましてありがとうございます。

女学校として最高の学校

栗原 順子

私は学校が喜多院のところにあつた時の卒業生です。家庭科が中心で一年生で和裁、二年生で洋裁を習得しました。ゆかたの早縫い競争もありました。文化祭、体育祭は坂戸校で合同で行い、お互いの交流を深めることができました。きびしい躰のなかでも先生方のきめ細かい指導をいただき最高の学校を卒業いたしました。よい友達にも恵まれ、昨年からは総会に出席しています。が来年もたくさんの方を誘ってまいりたいと思っております。



同窓会に出席して

瀬谷 真奈美

懐かしい顔触れ。卒業してからまだ二ヶ月程しか経っていないのに、友達に会えた懐かしさから自然に笑みがこぼれた。近況報告や他愛無いお喋りをしている、時間はあっという間に過ぎてしまった。

毎日のように学校中を走り回っていたあの頃。その時に、ほんの少しだけ時間が戻った気がした同窓会。また来年もこの場所で会おうと約束して、私達はそれぞれ家路に就いた。

四ツ身の着物

宮崎 政江

私は山村学園を卒業して五十年以上の歳月が過ぎ、その間に一男一女の母となり、子供達もそれぞれに結婚を済ませ、孫五人の祖母となり、現在本心に幸福だと常日頃思っています。幼少園に通って居る五歳になる（娘の子、息子の子）女の子二人の孫が、納涼大会にゆかたを着てゆきまいたと言ったのでデパートに買いに行きました。二店のデパートをまわりましたが、既製品の着物は裾も全部ミシンで縫ってあり、私がかかりして帰ってきたもので、その場が間に合えばよい時代なのです。自分の孫には自分の手で本橋の問屋に行き、七・六mのゆかたの布を二枚分購入しました。期日が三日間しかないのに、会社の仕事もあるし年はずっと居るし、なんとなく心はあせりました。昭和三十三年、嫁ぐとき大切に本箱に入れてもって来た学校時代のノートに四ツ身の縫い方、その他、細かく色々注意事項がきちんと書いてあり大変助かりました。四ツ身の着物の裁断するに当たり、山村ぬみよ先生がおっしゃった言葉を思い出しました。一度切ったものは元にはもどらぬ（七度計って一度切る）そう、四ツ身の着物は後身頃より計り、よく見てハサミを入れなさい。（五十年前に教えていただいた）から一度も四ツ身の着物を縫う機会がなかった私が、孫のために期限内に着物を縫いあげ、孫二人に、孫の喜んではしゃいでいる姿を見た時の私の満足感と同時に教育の大切さを感じました。身をもつて知ることが出来ました。孫達に「洋服も作って、着る着物も縫って、くれる、よいおばあちゃん」と言われると目も細めて喜んでやる私です。私は本当に山村学園で学んで社会に出る事のない様な教育をして、学園のますますの発展を心より祈って居ります。

山村学園短期大学からのメッセージ



山村学園短期大学
学長 山村 健先生

平成十四年度より、本学は厚生労働省認可「保育士」養成のための「保育学科」をあらたにスタートさせました。一人ひとりに対する徹底した個別指導を合言葉として、次世代を担う健やかな子どもたちを育む心豊かな保育士を養成する学科です。健康的な親子関係について理論と実践の両面から習得。また心理学・社会学・福祉に関する授業科目も充実していますので、子どもへのカウンセリングや保護者の育児相談にも対応できる知識と技術を身につけます。また卒業後は、保育所をはじめ、さまざまな児童福祉施設、社会福祉協議会、特別老人ホームなど幅広い活躍の場が用意されています。右のようなあたらしい保育学科の設置とならんで、従来の国際文化科を改組して、心理・福祉コース、ビジネス・情報コースなどから成るコミュニケーション学科もスタートしました。心理学や福祉の科目を通じて対人関係を重視する仕事に道をひらくとともに、外国語やコンピュータ関係の資格を生かして、金融・旅行・情報関連企業への就職をめざします。なお、両学科ともに、今年度より男女共学制となつて校名も標記のように変更するとともに、社会人学生や科目等履修生も積極的に受け入れていきます。最後にこれと関連して、特にこのコミュニケーション学科については、東上線川越市駅前の山村女子高等学校を駅前キャンパスとして活用し、一定の授業科目を夜間に開講する予定です。

山村女子高等学校からの

メッセージ



山村女子高等学校
校長 下田宏吉先生

八十年に及ぶ女子教育の歴史を誇る本校校長として二年目になります。着任した昨年、むらさき会にお招きいただき、同窓会のまとまりの素晴らしさを感じ、永い伝統を誇る本校女子教育の良さを伺えました。

本校は、平成十四年度より学校週五日制を実施しました。これを実施するにあたって検討したことは、授業と行事等をバランス良く確保することでした。そして全教職員で長期間検討を加え、次の点を変更しました。(1)三学制から二学制に、(2)一日七校時制に、(3)土曜日は予備校の講師等による特別ゼミ、(4)平日の早朝・放課後ゼミなど実施し順調に進んでいます。以上、本校の紹介をさせていただきます。むらさき会の更なる発展を祈念するとともに、お喜び申し上げます。

来年のむらさき会総会は

五月二十五日(日)

十一時開会

会場 川越プリンスホテル

主な部活動の活動実績

- ◆少林寺拳法部…17年連続全国大会出場
- ◆バトン部……………10年連続全国大会出場
今年度 全国準優勝
- ◆ダンス部……………全国大会5回出場
- ◆バスケット部…関東大会出場
国体埼玉県予選大会優勝
- ◆ラクロス部………3年連続関東大会出場
今年度 優勝



新しい流れの中へ

山村女子高等学校

入試対策室主任 柚木 斉先生

本校は今、大きく変革を遂げようとしております。ご承知の通り、本校は長い間、商業科を柱として生徒募集を行ってきました。振返れば、全盛期には検定取得に力を入れ、珠算・簿記をはじめ各種検定合格をめざし日夜活気づけていたこと。銀行、デパートをはじめ各種企業に就職するために一生懸命だったこと。今思えばどれも懐かしい一コマです。しかしその後、高度成長期を迎え世の中の志向が、一層の高度を求めようになり、短大、四大をめざす生徒が増えてまいりました。本校もその流れの中、普通科のクラスが徐々に増え、今日では完全な普通科主体の学校へ変貌しました。併せて、平成十五年度入試より商業科の灯が消え、新たに普通科に「情報進学コース」が誕生します。二十一世紀型の新コースです。ご期待いただきたいと思っております。さて、現在私は、入試業務に携わっております。この仕事をやっているからというわけではありませんが、私自身平日頃、学校は世間から信頼をされる中、在学生はプライドを持って学校生活を送れること。卒業生の皆さんにおかれましては、堂々と本校の卒業生であると言えること。ここが一番大事な点だと考えております。そのためには、受入れの窓口としましては、建学の精神のもと、明るく、素直で真面目に何事にも取り組める忍耐強い中学生に入って来てもらいたいと願っております。

本校も、新しい流れの中で年々質の向上が計られ、益々発展の一途を辿っております。どうぞ、今後共宜しくお願い申し上げます。

体験して、話して、考えて、自分らしい未来をつかむ場所

山村学園短期大学

本学は今年度より男女共学化に伴い「山村学園短期大学」と改称し、内容も大幅にリニューアル致しました。国際文化科をコミュニケーション学科に改組転換し、これとは別に、新たに保育学科を開設しました。むらさき会をはじめとした学園関係諸氏皆様方のご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。コミュニケーション学科には心理・福祉コースとビジネス・情報コースを設置し、様々な資格が授業の中で取得でき、就職活動につながる科目を設定しています。他にも、四年生大学への編入、海外への留學等一人ひとりに合った進路指導を展開していきます。

保育学科は木工・里山体験実習、動物園での飼育体験実習等を通じ、「骨太保育士」を養成し、命の尊さを教えることのできる資質の高い保育士を輩出していきます。常に社会のニーズに応えられるよう、教職員一同一丸となって邁進致します。今後ともむらさき会会員の皆様にはご支援賜りますようお願い申し上げます。



山村国際高等学校からのメッセージ



山村国際高等学校
校長 山口 堯先生

むらさき会の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。本校の卒業生は八千五百人を突破しました。

卒業生は自分の人生に心の底では満足してると信じます。私は、総会の出席会員の方々の生き生きとした姿に直面し多数の卒業生の出席を願う気持ちを新たにします。

在校生は明るく学校生活を謳歌しています。生徒と保護者の最大の期待は「学校生活を楽しく」、二番目が「進路希望の実現」です。また、多数の生徒・保護者が入学前から卒業まで、本校のイメージを「明るい」と捉えます。

このような在校生も三年で卒業します。藤華祭には、最近の卒業生は多いのですが卒業三年目には激減します。

例えば、卒業後二十五年等の節目の年に「母校訪問」の企画は、いかがでしょうか。学校は、その日を「ホームカミングデー」(帰省日)とでも呼びます。毎年、卒業一定年度の方々の藤華祭卒業式の来校も意義あるでしょう。

青春回帰、母校の現在を知る、同期生との再会等々。卒業生の皆様にとつて忘れられない一日になると信じます。

山村国際高等学校の現況

平成十一年に山村国際高等学校と校名を改称し、男女共学がスタートしました。現在一年次は、特別進学コース(国立大学、難関私立大学を目指すコース)・選抜コース(文系または理系の私立大学を目指すコース)・普通コース。2・3年次は、特別進学コース(文系に希望する希望の進路に幅広く対応するコースと理系に希望する希望の進路に幅広く対応するコース)・選抜コース(文系または理系の私立大学を目指すコース)・分類コース(文系に希望する希望の進路に幅広く対応するコース)・理類コース(理系に希望する希望の進路に幅広く対応するコース)・国際コース(語学と国際人としての活躍を目指すコース)・ファッションデザインコース(新しいファッション文化を担うスペシャリストを目指すコース)の6コースに分かれ、それぞれの特徴あるカリキュラムで楽しい授業を展開し、進路の実現を目指しています。

また、白樺湖での宿泊研修をはじめ八ヶ岳での夏季セミナー・カナダへの修学旅行など楽しい行事はまだまだあります。クラブ活動では、バトン部が全国大会で金賞を受賞、七月までカナダに留学していた船津友里さんは、レスリングフランス国際大会で優勝。スキー部の大塚美希さんは、関東大会に出場。書道部の佐藤奈央さんは、全国高等学校総合文化祭に出品とそれぞれが大変な活躍をしています。男子は、空手部・テニス部・バスケットボール部・剣道部・放送部で毎日汗を流しています。校内のたれ幕に男子の名前が出るのもきつと近い将来のことでしょう。お楽しみに・・・

生徒募集について

山村国際高等学校
生徒募集室長 諏訪 武先生

今日の生徒募集環境は、経済的不況とともに少子化現象のために大変厳しい状況にあります。名門校志向や経済的理由等による公立志望者数が多い中、私立高校は募集の熾烈な戦いを余儀なく強いられるのが現状です。本校は、四年前、女子校から男女共学校へと大変身をし、かつ普通科と服飾デザイン科を普通科一本にまとめ特別進学コースを新設してこれを目玉に再スタートを図りました。更に、平成十五年度は新指導要領に基づきカリキュラムの再編を図ります。新年度生の募集キャッチフレーズは「夢の実現にチャレンジ!」です。誰もが持つ夢。無限の可能性を秘めた夢。中には、単に夢物語として消えゆくものもあるでしょう。しかし、人は心のどこかで小さな期待をかけた大きな夢を見続けているのです。本校は、生徒一人一人が抱く夢に近づいためあらゆる事象を想定してサポート態勢を整えています。夢を夢として終わらせないために我が校はある。そんな気概に燃える教職員の日々は、生徒と共に在るといふ自己の存在に誇りを抱き輝いています。本校は、教育理念にChallenge(積極性)、Cosmos(広い視野)、Communication(語学力)を掲げていますが、まさに夢の実現への第一歩に他なりません。直ぐ届く夢。なかなか届かぬ夢。不可能に近い夢と夢の存在位置は様々ですが、意欲と努力の方向によってその夢も近づけられるものです。そのお手伝いに我が校は燃えています。そして、山村学園の仲間を一人でも多く増やしたいと願い、日々、募集活動に専念しているところです。

編集後記

多くの皆様のご協力を得て「むらさき会だより」(六号)ができあがりました。永い間、本会の顧問をお願いしていただきました國田先生が、一身上の都合で退任されました。本当にありがとうございました。新しく山村女子高等学校、山村国際高等学校の両校の校長先生が就任されましたこと紙面を借りて報告させていただきます。

この「むらさき会だより」が、会員相互の発信元になることを願っております。

お便りお待ちしております。

むらさき会 平成十四年度役員一覧

- 会長 田中 久子
- 副会長 伊藤 勲子
- 顧問 野島 康子
- 福島ミヤ子
- 山口 寛
- 下田 宏吉
- 山口 堯
- 事務局 小林 豊子

むらさき会連絡先

山村女子高等学校
☎049-1225-3565
〒350-1113 川越市田町16-1-2

山村国際高等学校
☎049-1281-0221
〒350-0214 坂戸市千代田1-2-23